様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

2023年　6月　29日

堺市長　殿

提出者
住　所　大阪府堺市西区石津西町５番地

氏　名　日本製鉄株式会社瀬戸内製鉄所阪神地区（堺）
地区代表　藤村　健介

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　072-243-2523

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日本製鉄株式会社瀬戸内製鉄所阪神地区（堺）
事業場の所在地	大阪府堺市西区石津西町５番地
計画期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	２２：鉄鋼業
②事業の規模	
③従業員数	６８１名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り

（日本工業規格　Ａ列４番）

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="4">（管理体制図）
別紙の通り</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（２０２２年度）実績】　別紙の通り</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・無機性汚泥、油泥：含水率低減の取組の維持
・無機性汚泥の一部（中和汚泥）の完全リサイクル化
・廃油：更油した油を有価売却</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】　別紙の通り</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・無機性汚泥、油泥：含水率低減の取組の維持
・無機性汚泥の一部（中和汚泥）の完全リサイクル化
・廃油：更油した油を有価売却</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td>①現状</td><td colspan="3">（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
無機性汚泥、廃油、油泥等はそれぞれ分別管理している</td></tr>
<tr><td>②計画</td><td colspan="3">（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
現状取組の維持</td></tr>
</table>

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（２０２２年度）実績】　別紙の通り</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
実施していない</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】　別紙の通り</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
実施予定なし</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（２０２２年度）実績】　別紙の通り</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減
量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
含水率低減の取組の維持</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】　別紙の通り</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減
量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
現状取組の維持</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（２０２２年度）実績】　別紙の通り</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
実施していない</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】　別紙の通り</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
実施予定なし</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="3">【前年度（２０２２年度）実績】　別紙の通り</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者
への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者
への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外
の熱回収を行う業者
への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・定期的な処理業者の視察と新規処理業者への委託前に
視察実施
・WDS、SDSによる情報提供</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

<table>
<tr><td rowspan="7"></td><td rowspan="7">②計画</td><td colspan="3">【目標】　別紙の通り</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td></td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td></td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処 理 委 託 量</td><td>t</td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
認定業者への処理委託を検討</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

②計画

t	t	t	t	
t	t	t	t	
t	t	t	t	
t	t	t	t	
t	t	t	t	

②計画

t	t	t	t	
t	t	t	t	
t	t	t	t	
t	t	t	t	
t	t	t	t	

t

t

t

t

t

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

前　年　度 【 2022 年 度】　実　績

担当者					
住　所	名　称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
大阪府堺市西区石津西町5番地	日本製鉄株式会社 姫戸内製鉄所阪神地区（様）	阪神環境防災室		0722432523	0722432767	

産業廃棄物の種類		計画の実施状況										（注＝ ①−②−③−④＋⑤−⑥＝⑦＋⑧＋⑨＋⑩＋⑪）						⑫＋⑬	⑬＋⑭
												委託による区分							
コード	名　称	①排出量 (t)	②自己直接再生利用した量 (t)	③自己直接埋立処分又は海洋投入処分した量(t)	④自己中間処理した量 (t)	⑤その内 熱回収を行った量 (t)	⑥自己中間処理した後の残さ量 (t)	⑦自己中間処理により減量した量 (t)	⑧自己中間処理した後の再生利用した量 (t)	⑨自己埋立処分又は海洋投入処分した量(t)	他者処理及び自己処理した後の処理委託量 (t)	⑩再生利用業者への処理委託量(t)	⑪熱回収認定業者への処理委託量(t)	⑫熱回収認定業者以外の熱回収業者への処理委託量(t)	⑬その他の中間処理 (t)（注1）参照	⑭埋立処分委託量	⑮最終認定処理業者への処理委託量(t)	⑭＋⑮ 自己再生利用を行った量(t)	⑬＋⑮ 埋立処分を行った量(t)
コード参照	産業廃棄物の種類	発生した産業廃棄物の種類ごとの量	その量のうち、中間処理をせず直接再生利用した量	その量のうち、中間処理をせず自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	その量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の当該中間処理前の量	その量のうち熱回収を行った量	自ら中間処理を行った後の量	その量から次の量を差し引いた量	その量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量	その量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量	中間処理及び最終処分を委託した量	その量のうち、処理業者への再生利用委託量（①、⑤除く）	その量のうち、認定熱回収施設設置者であるお客様業者への熱回収委託量	その量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への熱回収処理委託量	その量のうち、委託して破砕等の中間処理した量（①−⑩−⑪除く）	その量のうち、埋立処分委託して埋立処分を行った量	その量のうち、最終認定処理業者への委託処理量	その量と次の量を合計したための（自動計算）	その量と次の量を合計したための（自動計算）
1	220 無機性汚泥	18,261			18,190		895	17,295		19	966	947				19	947	0	19
2	340 油泥	7,831			7,415		505	6,910			980	980					980	0	0
3	300 廃油	1,216									1,216	1,216					1,216	0	0
4	500 廃アルカリ	358									358	358					358	0	0
5	600 廃プラスチック類	215									215			215			215	0	0
6	### がれき類	12									12				12		12	0	0
7	### 陶磁器くず	0									0						0	0	0
8	400 廃酸	71									71	71					71	0	0
9																		0	0
10																		0	0
11																		0	0
12																		0	0
13																		0	0
14																		0	0
15																		0	0
16																		0	0
17																		0	0
18																		0	0
19																		0	0
20																		0	0
	合計	27,964	0	0	25,605	0	1,400	24,205	0	19	3,818	3,572	0	215	12	19	3,799	0	19

（注1）トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

今　年　度　【 2023 年　度】　目　標

報告書					
住　所	名　称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
大阪府堺市西区石津西町5番地	日本製鉄株式会社 堺戸内製鉄所阪神地区（様）	環神環境防災室		0722432523	0722432767	

産業廃棄物の種類		計画の実施状況										（注）1.+2.-3.-4.+5.-6.+7.-8.+9.-10.+11.+12.+13.+14.+15.+16.+17.+18.+19.）						20.+21.	22.+23.
		1.排出量	2.自己直接再生利用した量	3.自己直接埋立処分又は海洋投入処分した量	4.自己中間処理した量	5.そのうち熱回収を行った量	6.自己中間処理した後の残さ量	7.自己中間処理により減量した量	8.自己中間処理した後の再生利用した量	9.自己処理した後の埋立処分又は海洋投入処分した量	10.直接及び自己処理した後の処理委託量	委託による区分							
コード	名　称	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	11.再生利用業者への処理委託量(t)	12.熱回収認定業者への処理委託量(t)	13.熱回収認定業者以外の熱回収業者への処理委託量(t)	14.その他の中間処理業者への処理委託量(t)	15.埋立処分委託量	16.最終認定処理業者への処理委託量(t)	17.自己再生利用を行った量(t)	18.+19.-20.+21.-22.+23. 埋立処分又は海洋投入処分を行った量(t)
コード参照	産業廃棄物の種類	発生した産業廃棄物の種類ごとの量	その量のうち、中間処理をせず自己再生利用した量	その量のうち、中間処理をせず自己埋立処分又は海洋投入処分した量	その量のうち、自己中間処理した産業廃棄物の当該中間処理前の量	その量のうち熱回収を行った量	自己中間処理を行った後の量	その量から次の量を差し引いた量	その量のうち、自己利用し、又は他人に売却した量	その量のうち、自己埋立処分及び海洋投入処分した量	中間処理及び最終処分を委託した量	その量のうち、処理業者への再生利用委託量（①b、⑬b+⑭））	その量のうち、認定熱回収施設設置者であるお客様業者への熱回収を行っている処理業者への熱回収処理委託量	その量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への熱回収処理委託量	その量のうち、委託して破砕等の中間処理した量（⑮−⑯b））	その量のうち、埋立処分委託して埋立処分を行った量	その量のうち、最終認定処理業者への委託処理量	その量と次の量を合計したもの（自動計算）	その量と次の量を合計したもの（自動計算）
1	220 無機性汚泥	18,261			18,190		895	17,295		19	966	947				19	947	0	19
2	340 油泥	7,831			7,415		505	6,910			980	980					980	0	0
3	300 廃油	1,216									1,216	1,216					1,216	0	0
4	500 廃アルカリ	358									358	358					358	0	0
5	600 廃プラスチック類	215									215			215			215	0	0
6	### がれき類	12									12				12		12	0	0
7	### 陶磁器くず	0									0						0	0	0
8	400 廃酸	71									71	71					71	0	0
9																		0	0
10																		0	0
11																		0	0
12																		0	0
13																		0	0
14																		0	0
15																		0	0
16																		0	0
17																		0	0
18																		0	0
19																		0	0
20																		0	0
	合計	27,964	0	0	25,605	0	1,400	24,205	0	19	3,818	3,572	0	215	12	19	3,799	0	19

（注1）トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。